

第1回生活充実講話（情報モラル）

平成30年4月11日（水）実施

毎年、1年生を対象に「情報モラル」をテーマに講演会を実施している。普及したスマホの便利さの裏で多発している犯罪や、個人情報漏洩、不用意な書き込みによるトラブル等を起こさない、巻き込まれない方法について学んだ。また、スマホの長時間利用が学習や生活へ悪影響を及ぼすことも学んだ。



1 講師 NTTドコモ

水谷 安希穂（みずたに あきほ）氏

2 演題 講演「スマホ・ケータイ安全教室」

3 内容

スマホは大変便利であるが、使い方を間違えるとトラブルに巻き込まれる恐れがある。スマホを安全に使っていくために気を付けることを、いくつかの再現ドラマとQ&A、生徒同士の話し合いを通じて教えていただいた。

講話の前半では、「SNSで気を付けること」について様々な例を出しながら解説していただいた。個人情報を書き込まなくても写真や様々な書き込みから個人が特定される恐れがあることや、インターネット上で知り合った人は簡単に信じない事、軽い気持ちや冗談のつもりでモラルに反した行動やその写真をアップしない事などを学んだ。

後半では、「コミュニケーションアプリ（LINEなど）で気を付けること」について学んだ。言葉の受け止め方の違いから生じる誤解が、他人を傷つけたり、いじめや事件にまで発展したりする危険性があることも学んだ。

最後に、主にスマホの長時間利用に伴う問題について学んだ。スマホによってなくすのは、睡眠時間と勉強時間であり、スマホ依存が進学等の進路にまで影響する危険性があることを学んだ。



他人に迷惑をかけないという意識を持ち、フィルタリングサービスを利用し、トラブルがあったら大人に相談することを忘れず、責任を持ってスマホやインターネットを利用することが大切であると分かった。

4 生徒の感想（感想の一部を抜粋しています）

- ・私は、個人情報を書き込まなければ安心だと思っていたけど、写真に写りこんでいる住所や目印、制服から学校や家を特定されてしまうということを知って、とても驚きました。
- ・ネットの恐ろしさを改めて感じるきっかけとなりました。本の軽はずみな一つの投稿で家族や他人を巻き込んでしまったり、つながりの関係から永遠にネットに残ってしまい自分を苦しめたりすることになるので、モラルに反する行為を絶対に起こさないようにしていきたいです。